

北海道建設新聞

災害遺児支援に役立てて  
札空衛が市の基金へ寄付



札幌空調衛生工事業協会(正会員55社)は2日、

札幌市災害遺児基金に10万円を寄付した。市内の大通バスセンタービル1号館で贈呈式を開き、池田薫会長が市の山本健晴子ども未来局長に目録を手渡した。

協会の里中雅幸副会

池田会長が山本局長(右)へ目録を手渡した

長、永山勝繁常任理事、西田正司専務理事、子ども未来局長の佐藤孝子とも育成部長が同席。山本局長は「支え合いが続くのは大事なこと」と伝え、池田会長に感謝状を贈呈

した。

協会は2008年に市立病院へ車いすを贈って以来、社会情勢に応じて緑化事業などへ使途を変えながら市への寄付を続

けてきた。近年は新型コロナウイルス対策の支援として市立病院に寄付していたが、コロナ禍の改善に伴い6年ぶりに災害遺児基金へ支援した。